

病院の食器

病院の食器はどのような素材が使われているのでしょうか？
普通のプラスチックの容器とは違うの？
どんな特徴があるの？
今回はそんな病院で使っている食器の不思議を紹介していきます

病院の食器は何でできてる？

食器の素材



メラミン樹脂

が使われています。

メラミン樹脂ってなに？

メラミン樹脂とは、プラスチックの一種です。

他材質との違い	
金属食器との違い	熱いものを入れても手に持て、料理が冷めにくく、金属特有の冷たさありません。酸などの薬品に強いのでさびず、“不快な騒音”もしません。
漆器との違い	熱や水に強く、自動洗浄機を使用しても絵付けがはがれません。新品のときの、いやな臭い、味もありません。
陶器との違い	割れにくく丈夫。重さも手軽なので取り扱いが簡単です。
耐熱ガラスとの違い	糸尻や水きりなどの機能設計ができ、絵付けも自在。長期間使用による衝撃で粉々に割れたりしません。

メラミン食器のメリット・デメリット

<メリット>

- 表面が硬くて割れにくく、耐熱性に優れています。
- 適度な重量感があり絵付けも自在で食器用に適しています。
- 熱伝導率が低いので料理が冷めにくく、熱いものを入れても、手や唇に熱さを感じさせません。

<デメリット>

- 熱消毒は100℃以下
- メラミン食器の耐熱性は120℃ですが、電子レンジは食器自体が発熱して190℃近くまで温度が上がり、製品の寿命を縮めるため電子レンジには使用できません。



十五夜お月様♪

平安時代「中秋の名月」を祝う習慣として一般的になったお月見。
最近では消えつつある行事でもあるそうですが、どうして中秋の名月を見るようになったのでしょうか。

そもそもお月見ってなに？



・その年の収穫を月に感謝する行事です

一年のうち最も空が澄み渡り月が明るく美しいことから、
古来より中秋の名月は観月に最適の時節とされています。

なかでも中秋の名月・十五夜はひときわ美しく、十五夜（9月
中旬の満月）、十三夜（10月中旬の満月）は、その年の収穫を
月に感謝するという行事です。

ちなみに、十五夜か十三夜のどちらかしか見ない事を「片月見
（片見月）」と呼び、両方観るのが望ましいそうです。

どうしてお月様に感謝をするの？

お月見の習慣は、平安時代「中秋の名月」を祝う習慣として
一般的になったようです。

月を祝うのは、昔収穫の作業が夜まで続く時、明るく照らして
くれる満月に感謝をしたのです。

また満月に豊作を祈願する意味もあります。

お供え物にはこういったものがあるの？

- ・団子
- ・サトイモなどの丸いもの
- ・ススキ
- ・秋の七草



これらのお供え物を東に向けて供えます。

～お供え物の意味～

団子…月見団子は中国の月餅がルーツとも、作物の代用だとも
考えられています。主に、関東では丸型の団子が、関西では
先細りの餅に餡を巻いたものが用いられます。

サトイモ…米が伝わる前の日本の主要作物であり、無事に
収穫を終えたサトイモを供えたわけです。

ススキ…稲に見立てられ豊作を祈願しました。

